

先住民生存捕鯨による捕獲枠(2007年第59回IWCにて採択、2018年第67回IWCにて一部改正)

国名	アメリカ		ロシア		デンマーク	セントビンセント		
場所	アラスカ	ワシントン州	極東北極圏		グリーンランド	ベックウェイ		
目的	先住民が肉及び生産物の先住民の地方的消費にのみ用いるため							
資源名	ベーリング海・ チュクチ海・ ビューフォート海	北太平洋東部	ベーリング海・ チュクチ海・ ビューフォート海	北太平洋東部	西グリーンランド	北大西洋中央	北大西洋系群	
対象種	ホッキョククジラ	コククジラ	ホッキョククジラ	コククジラ	ナガスクジラ ミンククジラ ホッキョククジラ ザトウクジラ	ミンククジラ	ザトウクジラ	
捕獲枠	56頭(年平均) ただし、米露の合計	140頭(年平均) ただし、米露の合計	56頭(年平均) ただし、米露の合計	140頭(年平均) ただし、米露の合計	ナガスクジラ 19頭(年) ミンククジラ 164頭(年) ホッキョククジラ 2頭(年) ザトウクジラ 10頭(年)	20頭(年)	4頭(年平均)	
適用時期	2019年から2025年まで7年間 ・6年に一度行われている先住民生存捕鯨の捕獲枠更新について、今回に限り次回の捕獲枠更新を7年後とする附表修正 ・捕獲枠に変更がなく、資源に悪影響がないと科学委員会が勧告し、先住民生存捕鯨国が捕獲枠提案やデータ提供等の締切を遵守していることなどを総会が認定した場合に、捕獲枠を総会での審議なく自動更新とする附表修正。							
備考	<p>・ベーリング海、チュクチ海及びビューフォート海のホッキョククジラは(米露併せて)、2019年から2025年までの7年間で392頭を超えて陸揚げしてはならない。 ・ベーリング海、チュクチ海及びビューフォート海のホッキョククジラの銜打ち数は年間67頭まで(ただし、過去3カ年未使用分の銜打ち数について、年間銜打ち数の50%以下に限り翌年以降の年に繰り越し可能)。</p> <p>・北太平洋東部のコククジラは(米露併せて)、2019年から2025年までの7年間で980頭を超えて陸揚げしてはならない。 ・北太平洋東部のコククジラの銜打ち数は年間140頭を超えてはならない(ただし、前年未使用分の銜打ち数について、年間銜打ち数の50%以下に限り翌年以降の年に繰り越し可能)。</p>				<p>・ナガスクジラの銜打ち数は年間19頭まで。 ・ミンククジラの銜打ち数は年間164頭まで。 ・ホッキョククジラの銜打ち数は年間2頭まで。 ・ザトウクジラの銜打ち数は年間10頭まで。</p> <p>(ただし、2020年までに銜打ち数制限に係るアルゴリズムが開発された場合、その管理下で前年未使用分の銜打ち数について、その50%以下に限り翌年以降の年に繰り越し可能)</p>		<p>・ミンククジラの銜打ち数は年間20頭まで。ただし、前年未使用の3頭分までの銜打ち数を翌年以降の年に繰り越し可能。</p>	<p>・ザトウクジラは、2019年から2025年までの7年間で28頭を超えて捕獲してはならない。</p>